

銘柄米生産情報

会津若松市・磐梯町・猪苗代町
JA会津よつば（あいづ地区）・福島県農業共済組合会津支所
全農福島県本部・福島県会津農林事務所農業振興普及部

東北地方1か月予報 <仙台管区気象台 R8.10.1 発表>

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

【気温】東北地方	10	30	60
【降水量】東北地方	30	40	30
【日照時間】東北地方	20	40	40

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ
晴れの日が多いでしょう。
平均気温は、高い確率60%です。

凡例: ■ 低い（少ない） ■ 平年並 ■ 高い（多い）

1 今後の管理のポイント

- 1 稲わらのすきこみは秋のうちにいきましょう。
- 2 次年度に品種を切り替える場合は、漏生イネ対策を実施しましょう。

2 技術対策

【稲わらのすきこみは秋のうちに…】

1 次年度の強還元状態（ガスわき）を抑えるポイント

- ・稲わらのすきこみは、春よりも秋に行う方がガス湧きが少なく、土壌の異常還元が抑制され、根腐れ等の生育障害が軽減されます。
- ・石灰窒素や分解促進資材（ワラ分解キング等）を施用しすき込むと腐熟が促進されます。
- ・鉄を含むケイ酸資材（田んぼマスター等）を施用すると高温・ガスわき対策になります。
- ・地温の高い10月のうちに行い、耕深は浅め（5～10cm）に行いましょう。
- ・秋耕を行ったら、排水溝を設置し、ほ場の排水を促しましょう。

【収穫後から始める漏生イネ対策！】

2 次年度から品種を変更する際、問題となるのが漏生イネです。

漏生イネは、ほ場内に落ちた粃が翌年に生育しているものを指します。

- ・収穫を終えてから、20～30日後までには秋耕を行いましょう。
刈取時に落ちた粃を土中に埋めるためでなく、2番穂の出穂や結実を防ぐ効果もあります。
- ・ラウンドアップ等の非選択性除草剤の散布も有効です。
- ・翌年の代かき後、エリジャン乳剤等のプレチラクロールを有効成分に含む剤を使用します。
- ・漏生イネは代かき後から長期間にわたって発生するため、体系的な薬剤防除が有効です。
- ・田植えの約1か月後から漏生イネの見分けが付きやすくなるので、抜取を実施しましょう。

秋の農作業安全運動実施中！（9/1～10/31）

- ・共同作業やほ場への出入り等、周囲の確認をしっかりと行いましょう！
- ・作業前はオペレーターと補助作業員で打合せを行いましょう！
- ・機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！